



須藤 たいいち 岱一さん (87歳)

ひろ 啓さん (81歳)

登米町・前小路 昭和30年4月入籍

何でも話すことが円満のコツ

★結婚当時の思いでは

【岱一】父親同士の仕事(大工と表具屋)の関係で親が決めた結婚だね。

【啓】結婚して5年はおじいさんの仕事で仙台で暮らしてて。こっちに帰ってきたのは息子が生まれてから。長男だからね。昭和34、35年頃だったけど、その頃はこっちに来ても仕事がなく大変だったね。

★印象深い出来事は

【岱一】戦争中は三重県の海軍航空隊、いわゆる特攻隊にいてね。これまで戦友と「戦友会」で全国いろんなところに二人一緒に旅行に行ったね。【啓】いろんなところに連れて

いってもらって、おしゃべりして楽しかったね。

★現在の楽しみは

【岱一】毎日の晩酌。日本酒一合365日飲んでっから。これが健康の元!

【啓】お茶のみと年1回の旅行。3夫婦で旅行してんの。青森とか新潟とか。去年は鬼怒川に行ったね。毎月積み立てもしてるから(笑)。

★夫婦円満のコツは

【二人】何でも話すこと。家族でもね。あとはお互いの悪口を言うことぐらい(笑)。

★やりたいこと

【二人】やりたいことはいっぱいあるよ。だけど体の不調もあって実現できていないね。

One's Home

ふるさとへの思い

Monthly Hot Communication

なお一層深まるふるさととの絆

このたび「広報とめ」がリニューアルされ、私もふるさと会メンバーが投稿する機会をいただき大変光栄に思います。これから、疎遠だったふるさととの絆も深まることと期待しています。過去にも「ふるさと」は遠きにありて」と題し、平成元年9月から平成12年2月まで投稿しました。投稿者数は約125人。当時の皆さんの内容を拝見すると、仙北鉄道、鹿ヶ城、田園風景、幼い頃の遊びなどがよく書かれていました。

東京迫会は、昭和61年11月8日に準備設立委員会が東条

横川 祐喜さん (83歳)

(旧姓川門田)

登米市在京町人会連絡協議会副会長、東京迫会会長 迫町出身



おらほの道の駅

道の駅津山 「もくもくランド」



木の香りあふれる緑のテーマパーク

今月は、津山町横山にある、道の駅津山「もくもくランド」の佐藤駅長にお話を伺いました。 Q道の駅津山の特徴やお勧めなものを教えてください 津山町は、面積の82%が山



佐藤賀津雄駅長(右)と職員の方々

林の林業の町です。「クラブトショップもくもくハウス」では津山町の杉材を利用した「杉矢羽木工品」や、ケヤキなどで作られたおもちゃや器などの木工品が多数並んでいます。どれも木の温かさを感じられるものばかりでプレゼントにも最適です。敷地内にある「木の遊具と芝生の広場」には、木で作られた大型遊具があり、その中でもすべり台は子どもたちに大人気です。芝生では寝そべったり、散歩したりでき、大人から子どもまで楽しめます。休日にはたくさん家族連れで賑わっています。

Q今の季節、お薦めの農産物を教えてください

春先からはタラの芽やシドケ、フキノなどの山菜が店頭で置かれています。また、ミネラルを含んだ伏流水で育ったワサビはここならではの逸品です。ワサビを使った漬物やアイスも人気です。ぜひ一度ご賞味ください。



ワサビ生産・加工者 阿部きつよさん



人気の「わさびアイス」

【問い合わせ】道の駅津山「もくもくランド」 ☎0225(69)2341

まちの文芸 短歌

作品募集! ●7月号は俳句・川柳です。住所・氏名・電話番号を記入し、6月1日までご応募ください。作品には全てふりがなを振ってください。●応募者多数の場合選考して掲載します。

桜散り自転車こぐ背の逞しく 我が送迎のわずかなりかと 新緑の風薫りくる露天風呂 娘の姑と肩まで浸りぬ

紫の色を抱きて芽吹きいる シラネアオイの庭に憩えり 五月晴れ満開となり花みずき 友と二人でお花見をする

戦より還り過ぎて七十年 ひとすらすら読み歌を読む日々

相澤 志子 (東和)

酒井 良子 (中田)

熊谷夕へ子 (中田)

小野寺典子 (中田)

千葉 源治 (中田)

何事も一生懸命やるのだが 老の力は五分の一なり

お握りをころつとひとつ風呂敷に 麦踏みし畑も道路となりぬ

我が町も桜の開花ピカピカの 入学生を親は見送る

朝四時の勤務に耐えて初給料 祖母に小遣い刺身も添えて

遠き日の君肩触の中川を 行けば弥勒に海霧の春

折居由紀子 (米山)

水野トヨコ (米山)

佐藤ヒサコ (米山)

佐藤よしの (石越)

菅野 郭公 (津山)

応募総数 16 作品